



ミズバショウ（昨年3月下旬の様子）
「水芭蕉」（サトイモ科）

見頃は3月中旬～4月上旬です。約2万株のミズバショウが楽しみいただけるまであともう少しです。

箱根湿生花園の花だより

2019年 3月1日 発行

2019年3月1日 OPEN!

3ヶ月の冬季休園を経て、今年は3月1日に開園いたしました。早春のこの時期は、フクジュソウやセツブンソウなどの可憐な花をお楽しみいただけます。春の妖精たちが皆様をお待ちしています！

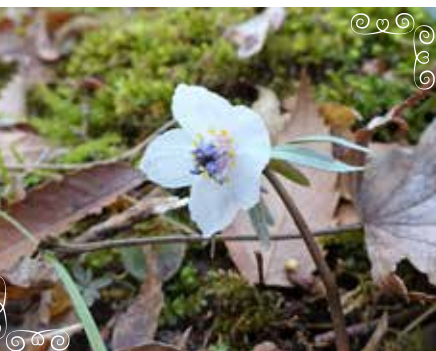


『森のカフェ HAKONE オープン』

箱根湿生花園の園内に「森のカフェ HAKONE」がオープンしました！
サンドイッチなどの軽食やドリンク、箱根湿生花園で収穫したいちご「箱根りりか」を使ったデザートなどを取り揃えております。お気軽にお立ち寄りください。
営業時間 9：00～16：00

『箱根湿生花園 特別料金のご案内』

3/1（金）～3/8（金）にご入園いただいたお客様は、特別料金として大人500円、子ども300円とさせていただきます（通常料金、大人700円 子ども400円）。



セツブンソウ

「節分草」（キンポウゲ科）

本州（関東地方～中部地方）の石灰岩地の樹林内に生える多年草。名前の由来は節分の頃に開花することから。



Pick Up フクジュソウ 「福寿草」 キンポウゲ科

フクジュソウは北海道～九州の山地のやや明るい林内に生える多年草です。早春に輝くような黄色の花を咲かせ、春の訪れを感じさせてくれます。名前の由来は、旧暦のお正月である2月頃に花を咲かせることから付けられました。縁起の良い名前であることから、お正月の鉢花として流通しています。

箱根湿生花園では、落葉広葉樹林の下で咲いているフクジュソウをご覧いただけます。花は日が当たっている時にだけ開くため、観察する際は天気の良い日がおおすすめです。早春のお日様を浴びて嬉しそうに咲いているフクジュソウにぜひ会いにきてください。

箱根りりかサンド販売♪

森のカフェ HAKONE から
おすすめメニュー「箱根りり
かサンド」のご紹介です。

「箱根りりか」は四季成りのいちごで、甘味と酸味のバランスが絶妙ないちごです。

当園では箱根の冷涼な気候を生かし、植物園のスタッフが育てています。その箱根りりかをふんだんに使用したメニューがこの「箱根りりかサンド」です。ジューシーないちごと濃厚な生クリームの相性は抜群で、あっという間に食べきってしまう美味しさです。箱根りりかは年中収穫できる見込みですが、まだ、生産量が少ないため数量限定。お早めにご賞味ください！



ご利用案内

通常営業 9：00～17：00（最終入園 16：30）
大人（中学生以上）700円 小人（小学生）400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス（湖尻・桃源台行）
“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス（湿生花園行）終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

Botanical Gallery



バイカオウレン

本州（福島県以南）～四国の針葉樹林内や林縁に生える多年草。根生葉は拳状複葉で、小葉は5個つく。



ナニワズ

北海道～本州（北陸地方）の落葉樹林内に生える落葉小低木。早春に花を咲かせ、夏には落葉する。



セリバオウレン

本州～四国の山地の林内に生える多年草。名前の由来は、オウレンという植物の変種で、葉の形がセリに似ることから。



ミスミソウ

本州（中部地方以西）～九州の落葉広葉樹林内に生える多年草。花色は変異が多い。



アセビ

本州（山形・宮城県以南）～九州の山野に生える多年草。白い壺形の花を下向きに咲かせる。箱根に多く自生する。



フキ

北海道～沖縄の山野に生える多年草。雌雄異株。若い花茎は「フキノトウ」と呼ばれ、山菜として食用にする。



ネコヤナギ 「猫柳」(ヤナギ科)

北海道～九州の水辺に生える落葉低木。名前の由来はふわふわの花序が猫のしっぽに似ていることから。冬芽をやさしく触ってみてください。



ミツバノバイカオウレン
「三つ葉の梅花黄蓮」(キンポウゲ科)

本州(中部地方以北の日本海側)のやや湿った亜高山～高山に生える多年草。園内では同じ仲間のバイカオウレンも観察することができます。

箱根湿生花園の花だより

2019年 3月15日 発行

箱根仙石原でも晴れた日は日差しが暖かく感じられるようになりました。ミズバショウやカタクリも冬の休眠から目覚め、徐々に花数を増しています。お散歩しながら春のお花を探してみたいはいかがでしょうか？



『森のカフェ HAKONE オープン』

箱根湿生花園に「森のカフェ HAKONE」がオープンしました！サンドイッチなどの軽食やドリンク、園内で収穫したいちご「箱根りりか」を使ったデザートなどを取り揃えております。営業時間 9:00～16:00



『春の山野草展 2019』

春に咲く、日本や外国の山野草を展示しています。おなじみの花やマニアックな山野草も紹介しています。開催期間は4月10日までです。どうぞお楽しみください。



ショウジョウバカマ
「猩々袴」(ユリ科)

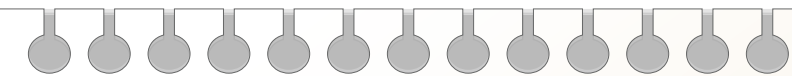
北海道～九州の山地の谷沿いや林野の湿ったところに生える多年草。名前の由来は、花を猩々の顔に、葉を袴に見立てたところから。



Pick Up ミズバショウ 「水芭蕉」 サトイモ科

ミズバショウは、北海道～本州(兵庫県、中部地方以北)の湿原や湿潤な林内に生える多年草です。名前の由来は、水辺に生え、葉が芭蕉(バナナの仲間)に似ていることから名づけられました。白い花びらに見えるものは苞といい、本当の花は苞の中にある淡緑色の棒状のものに密生して付いています。花が終わると葉はどんどん大きくなり、翌春のために栄養を蓄えていきます。

箱根湿生花園のミズバショウは、順調にいけば、今年は3月下旬に見頃を迎える見込みです。園内では約2万株のミズバショウが植栽されており、群生する姿をご覧ください。箱根に春を告げる純白のお花をぜひご堪能ください！



File16 クサガメ カメ目イシガメ科

春の暖かな日差しを浴びると植物だけでなく、動物たちも目を覚まします。



クサガメは、本州～沖縄の池や河川に生息する淡水性のカメです。メスは大型になり、最大でも約30cmほどの体長になります。子

ガメはゼニガメと呼ばれ、日本でもなじみ深いですが、最近の研究では18世紀末に朝鮮半島から持ち込まれた移入種であることが分かっています。

園内では、太陽が出て気温が上がってくると甲羅干し(日光浴)をしている様子や、子ガメたちが地上に出てくる姿を見ることができます。物音に敏感なので静かに観察してみてください。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

Botanical Gallery



ミスミソウ

本州(中部地方以西)～九州の落葉広葉樹林内に生える多年草。雪割草とも呼ばれる。



ミツマタ

中国～ヒマラヤ原産の落葉低木。名前の由来は、枝が3つに分かれて出ることから。



コシノコバイモ

本州(北陸地方、静岡県、福島県)の山林の薄暗い場所に生える多年草。名前は、越後のコバイモという意味。



カタクリ

北海道～九州の林内に群生する多年草。球根からはデンプンが取れ、かつて片栗粉として利用した。



キクザキイチゲ

北海道～本州(近畿地方以北)の山地の落葉樹林内に生える多年草。花色は変異が多く、淡紫色～白色がある。



セントウソウ

北海道～九州の林野や林縁などに生える多年草。早春に小さな白花を多数咲かせる。



フクジュソウ 「福寿草」(キンポウゲ科)

写真は、2019年3月14日現在の様子。満開のフクジュソウを観察することができます。早春の花は開花期間も短いので、どうぞお早めにお越しください。



ニリンソウ
「二輪草」(キンポウゲ科)

北海道～九州の山野の湿ったところに生える多年草。日本に自生するアネモネの仲間のひとつ。園内では湿生林区で観察することができます。



リュウキンカ
「立金花」(キンポウゲ科)

本州～九州の湿地や水辺に生える多年草。名前の由来は、花茎が立ち、金色の花を咲かせることから。

箱根湿生花園の花だより

2019年 4月 1日 発行

ミズバショウやカタクリの花が、園内を春色に染め、箱根湿生花園に春の訪れを告げています。にぎやかな桜のお花見もいいですが、鳥のさえずりの聞こえる園内で、野山の可憐な植物たちのお花見を楽しんでみませんか？

森のカフェ HAKONE おすすめメニュー 「フレッシュハーブティー」

森のカフェ HAKONE では、園内にて無農薬で育てたハーブをふんだんに使用した、プレミアムなハーブティーを提供しています。
アップルミントやスペアミントなど当日摘み取ったハーブを数種類ブレンドしています。

新鮮なハーブは香りが強く、すっきりとした味わいで、単品はもちろん、サンドイッチなど他のメニューにも合うとご好評をいただいています。「フレッシュハーブティー」を飲みながら、是非リラックしたひとときをお楽しみください。



森のカフェ HAKONE の営業時間 9：00 ～ 16：00

『春の山野草展 2019』

春に咲く、日本や外国の山野草を展示しています。おなじみの花やマニアックな山野草も紹介しています。開催期間は4月10日までですので、どうぞお早めにお越しください。



Pick Up カタクリ 「片栗」 ユリ科

カタクリは、北海道～九州の落葉広葉樹林内に生える多年草です。カタクリのように、木々が芽吹く前のわずかに数ヶ月だけ地上部に現れ、他の植物が茂る頃には姿を消し、一年の大半を休眠して過ごす植物のことを「春植物」や「スプリング・エフェメラル（春の儚いもの）」と呼びます。カタクリは春植物の代表種で、他にもニリンソウやエゾエンゴサクが春植物として知られています。

2019年3月31日現在、カタクリは見頃を迎えています。カタクリの花被片は日光を浴びると強く反り返るため、観察する際は晴れている日がお勧めです。儚くとも美しい春の妖精をぜひ一度ご覧ください！



File17

ツグミ

スズメ目ツグミ科

まだ草丈の低い園内では、様々な野鳥が地中の餌を探しています。今回は、その中でツグミをご紹介します。

ツグミは、ヒヨドリくらいの大きさをした赤茶色の野鳥で、眉毛に見え



る目の上の白い眉斑が特徴です。ツグミは、冬に日本に飛来する渡り鳥で、冬～春に栄養を蓄え、5月頃になると繁殖のためにシベリアに旅立ちます。地面で立ち止まり、背伸びをする仕草は隠れる場所の少ない草原で敵をいち早く見つけるために行う警戒行動です。人にはあまり警戒心が無く、園内でも比較的近くで観察することができます。観察する際は、人が少ない開園直後がお勧めです。

ご利用案内

通常営業 9：00 ～ 17：00（最終入園 16：30）
大人（中学生以上）700円 小人（小学生）400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス（湖尻・桃源台行）“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス（湿生花園行）終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

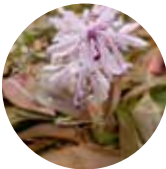
Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

Botanical Gallery



ショウジョウバカマ

北海道～九州の山地や林野の湿ったところに生える多年草。名前の由来は、花を狸々の顔に、葉を袴に見立てたところから。



マメザクラ

本州（関東・中部地方）の丘陵から山地の林縁などに生える落葉小低木。フジザクラとも呼ばれる。



シデコブシ

本州（東海地方の伊勢湾周辺地域）の湿地やその周辺に生える落葉小高木。花には芳香がある。



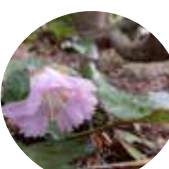
エゾエンゴサク

北海道～本州（中部地方以北）の湿り気のある林内や林縁に生える多年草。青紫色の筒状花を総状に咲かせる。



ヒュウガミズキ

本州（石川県～兵庫県の日本海側）のやせた岩地に生える落葉低木。花が美しいため、庭木としてよく植栽される。



イワウチワ

本州（関東地方）の山地の日陰に生える多年草。名前の由来は、岩地に生え、葉がうちわに似ていることから。



ミズバショウ 「水芭蕉」(サトイモ科)

北海道～本州（兵庫県、中部地方以北）の湿原や湿潤な林内に生える多年草。花が咲き終わると名前の由来にもなったバショウに似た葉を大きく生長させる。



オキナグサ

「翁草」(キンポウゲ科)

本州～九州の山野の日当たりのよい草地に生える多年草。花は下向きに咲く。名前の由来は、白く長い毛を持つ果実の集まりを老人の白髪にたとえたことから。

箱根湿生花園の花だより

2019年 4月15日 発行

春らしい暖かな陽気が続くようになってきました。園内ではリュウキンカやニリンソウなどの可憐な花が次々に咲き、お客様の目を楽しませています。

人気の「ヒマラヤの青いケシ展」は4/20(土)から開催します。「幻の花」と呼ばれるヒマラヤの青いケシをどうぞお見逃しなく！



ヒマラヤの青いケシが咲き始めました！
(4/14現在)



エゾエンゴサク

「蝦夷延胡索」(ケシ科)

北海道～本州(中部地方以北)の湿り気のある林内や林縁に生える多年草。花色は変異が大きい。春植物のひとつ。



Pick Up リュウキンカ 「立金花」 キンポウゲ科

リュウキンカは、本州～九州の湿地や水辺などに生える多年草です。名前の由来は、花茎が立ち、金色の花を咲かせることから名づけられました。箱根湿生花園では、リュウキンカの変種である、「エゾノリュウキンカ」と「エンコウソウ」を観察することができます。「エゾノリュウキンカ」は北海道～本州北部に分布し、リュウキンカより一回りほど大きく、「エンコウソウ」は北海道～本州に分布し、茎が直立せず横に広がっていくなどの特徴があります。リュウキンカと見比べてみると、それぞれの違いがよく分かります。園内では、低層湿原区などでリュウキンカを観察することができます。

File18

クサアリ

膜翅目アリ科

クサアリは、全国の森林に広く分布する体長 5mm 程のアリです。においを嗅ぐとサンショウなどの柑橘類に似たような臭いがするため、「臭い蟻」という意味から名づけられました。

岩場植物区の林内では、おびただしい数のクサアリの行列が観察できます。行列を辿ると、木の上にまで続きます。クサアリの主食は、木の上に生息するアブラムシが出す甘露(蜜)で、クサアリはこの蜜を集めるために行列をつくります。

写真をよく見ると、蜜でお腹がパンパンに膨れた個体がいるのが分かります。園内で行列を見つけたら、一匹一匹の行動や見た目に注目しながら観察してみてください。

Botanical Gallery



ニリンソウ

北海道～九州の山野の湿ったところに生える多年草。名前の由来は、1本の茎にふつう2個の花をつけることから。



ユキワリコザクラ

北海道～本州北部の山地の岩場に生える多年草。サクラソウ科、ユキワリソウの変種。



オオバキスミレ

北海道～本州(近畿地方以北)の日本海側の山野に生える多年草。名前の由来は、キスミレより葉が大きいことから。



ミツバツツジ

本州(関東地方～近畿地方東部の太平洋側)の丘陵から山地の林内や岩場に生える落葉低木。庭木としてよく植栽される。



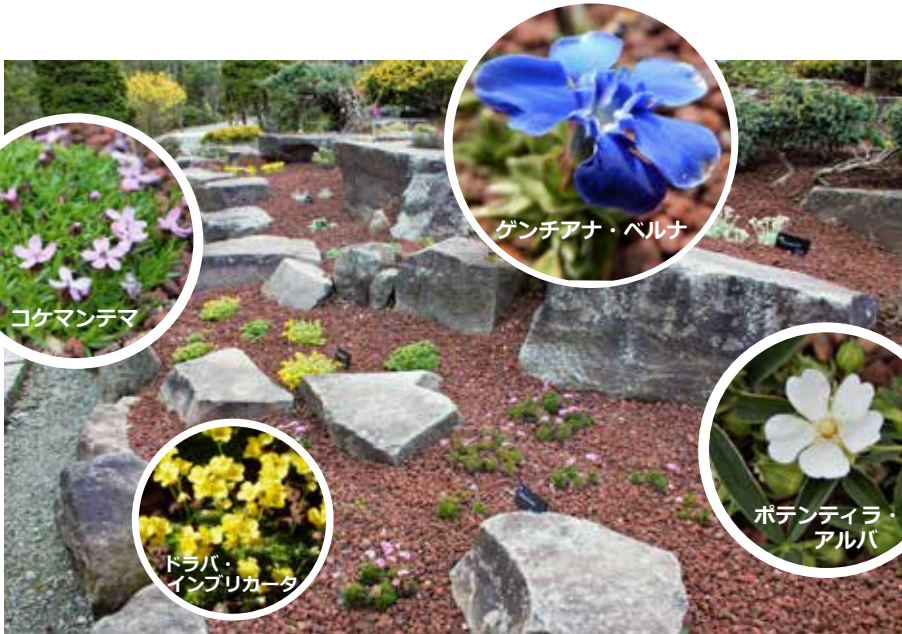
ミズバショウ

北海道～本州(兵庫県、中部地方以北)の湿原や湿潤な林内に生える多年草。名前の由来は、水辺に生え、葉がバショウの葉に似ていることから。



オサバグサ

本州(中北部)の亜高山帯の針葉樹林内に生える多年草。名前の由来は、葉を機織りに使用する「おさ」に見立てたことから。



洋風ロックガーデンの様子

海外の山野草や園芸品種を植栽しているこのエリアでは、可愛らしい小型の植物たちが花を咲かせています。視線を下に下ろして、じっくり観察してみてください。

森のカフェ HAKONE

おすすめメニュー

「箱根リリカ ソフトクリーム」

森のカフェ HAKONE では、園内で育てている苺、箱根リリカを使った、「箱根リリカソフトクリーム」を販売しています。一口食べると、箱根リリカの美味しさが口いっぱいに広がります。

美味しさの秘密は、店長手作りの箱根リリカピューレです。苺の新鮮さが損なわれないよう、絶妙な火加減で加熱し、甘酸っぱい味わいに仕上げました。このピューレは、濃厚なソフトクリームの上とワッフルの中にたっぷり入っているので、ぜひお試しください！



森のカフェ HAKONE の営業時間 9:00～16:00

『ヒマラヤの青いケシ展 予告』

4月20日から、園内特設会場にて「ヒマラヤの青いケシ展」を開催します。期間中、延べ約1000株の青いケシを展示します。ヒマラヤ周辺にしか自生しない、神秘的な花をお楽しみください。



ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)

大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>



サクラソウ
「桜草」(サクラソウ科)

北海道～九州の川岸や山麓の湿り気の多いところに生える多年草。古典園芸植物として親しまれ、多くの園芸品種がある。埼玉県田島ヶ原の群生地は、特別天然記念物に指定されている。



クマガイソウ
「熊谷草」(ラン科)

北海道(西南部)～九州の山野の林内や杉林などに生える多年草。名前の由来は、袋状の唇弁を熊谷直実の母衣(ほろ)に見立てたことから。

箱根湿生花園の花だより

2019年 5月1日 発行

箱根仙石原の木々もようやく芽吹き始め、新緑が美しい季節まであともう少し。一面、緑に変わった低層湿原区では、サクラソウが次々に咲き、湿原を鮮やかなピンク色に染めています。

園内特設会場では、「ヒマラヤの青いケシ展」を開催しています。青いケシの群生は、5月中旬ごろまでお楽しみいただけそうです。

森のカフェ HAKONE おすすめメニュー 「森のGARDEN SET」

森のカフェ HAKONE では、お客様に気軽に色々な味を楽しんでいただくために、お得なセットメニューをご用意しています。3種類のホットサンド、4種類のドリンクからお好みのメニューをお選びください。おすすめは、野菜たっぷりの手作りスープ。日替わりのため、何が入っているかはその日のお楽しみ。お食事の最後には、まるで鉢植えのような植物園らしいデザートをご用意しています。オシャレでお腹いっぱいになる、大満足なセットメニューです。



森のGARDEN SET

- ①ホットサンド
ニの岡ポロニアとエッグ or ツナメルト or アボカドベジ
- ②ドリンク
コーヒー or ティー or カフェラテ or オレンジジュース
- ③本日のスープ
- ④植物園のデザート

『ヒマラヤの青いケシ展』

4月20日から、園内特設会場にて「ヒマラヤの青いケシ展」を開催しています。期間中、延べ約1000株の青いケシを順次展示します。ヒマラヤ周辺にしか自生しない、神秘的な花をぜひこの機会にお楽しみください。



Pick Up ヒマラヤの青いケシ ケシ科

ヒマラヤの青いケシが属するケシ科メコノプシス属の植物は、世界に60種以上あると言われています。分布の中心は、ネパール、ブータン、中国などヒマラヤ周辺のごく限られた地域で、標高3000m～5000mの高標高域に自生します。メコノプシス属の植物の中で青い花を咲かせるものは、「ヒマラヤの青いケシ」と呼ばれ、その美しく神秘的な花は一度見たら忘れられません。箱根湿生花園では、園内特設会場で咲き誇る青いケシをご覧ください。強光や風雨をさけるため、屋根の下で展示を行っています。そのため、雨の日でも美しい花を観賞することができます。毎年お客様に大人気の青いケシ。この機会をお見逃しなく！



File19

キジ

キジ目キジ科

園内を散策していると様々な方向から「ケーン、ケーン」という大きな鳴き声と、「ドドドッ」という勇ましい羽音(左右の翼を激しく胴体に打ち付ける音)が聞こえます。これはキジ



の雄が、自分の縄張りの主張と雌へのアピールのためにとる行動で、「母衣(ほろ)打ち」と呼ばれています。春から初夏にかけてがキジの繁殖期となるため、この時期には特に激しく鳴き交わします。

キジは、昔話の「桃太郎」など古くから日本人に身近な野鳥ですが、実物に出会ったことがある方は少ないのではないのでしょうか。仙石原周辺は、県内でもキジの生息数が多い地域です。是非観察してみてください。

Botanical Gallery



ミヤマオダマキ

北海道～本州(中部地方以北)の高山の草地や岩場に生える多年草。高山植物区では、本種の群生を観察できます。



ヤマブキソウ

本州～九州の山野の林内に生える多年草。名前の由来は、ヤマブキの花に似ていることから。



ミツガシワ

北海道～九州の山地の湿地や沼に生える多年草。白い花は、よく見ると縮れた毛が密生している。



ヤマシャクヤク

本州(関東地方以西)～九州の山地に生える多年草。ボタンの仲間、1本の茎に1つの花が咲く。



ヒメシャクナゲ

北海道～本州(中部地方以北)の亜高山、高山帯など寒冷地の湿原に生える常緑小低木。淡紅色の壺型の花を下向きに咲かせる。



ノウルシ

北海道～九州の川岸などの湿地に生える多年草。茎を切ると乳白色の汁が出て、触るとかぶれる。



ツルハナカタ

イリス・クリスタータ

サキシフラスノキ

四季咲きコマクサ

洋風ロックガーデンの様子

海外の山野草や園芸品種を植栽しているこのエリアでは、可愛い小型の植物たちが花を咲かせています。視線を下に下ろして、じっくり観察してみてください。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本站より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>



クリンソウ

「九輪草」(サクラソウ科)

北海道～四国の山地の湿り気のある草地に生える多年草。名前の由来は、花が段をなして咲く様子がお寺の塔の上にある九輪に似ていることから。

箱根湿生花園の花だより

2019年 5月15日 発行

箱根仙石原でも、緑が深まり、新緑の美しい季節を迎えています。湿原では、チョウジソウやクリンソウなど5月の強い日差しにも負けない、色鮮やかな花が咲いています。また、上を見上げてみると満開のズミの花がお客様を迎えてくれます。これからは、園内で開花する植物の種類が最も多くなる季節です。歩くたびに美しい花と出会うことができますよ。



ズミ

「酢実」(バラ科)

北海道～九州の日当たりの良い山地の林縁や湿原などに生える落葉小高木。材は緻密でかたいため、クシや器具材などに使われていた。



Pick Up チョウジソウ キョウチクトウ科

チョウジソウは、本州～九州の川のそばなどのやや湿った草地に生える多年草です。名前の由来は、花の形がフトモモ科の高木、チョウジに似ていることから名付けられました(諸説があります)。淡い青紫色の花が、茎の先端に多数咲いている姿は大変綺麗ですが、近年は自生地が減少が著しく、各地で絶滅危惧種に指定されています。

箱根湿生花園では、低層湿原区の木道近くで観察することができます。花の一つ一つは小さいですが群生しているため、あたりが淡青紫色に染まって見えます。近くには、ピンクが鮮やかなサクラソウも咲いており、緑とのコントラストはとても美しく、おすすめです。

森のカフェ HAKONE

おすすめメニュー

「箱根りりかパルフェ」

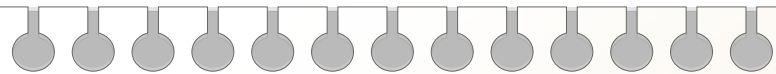
森のカフェ HAKONE では、箱根湿生花園オリジナルの苺「箱根りりか」をふんだんに使ったスペシャルなデザート「箱根りりかパルフェ」をご用意しています。「箱根りりか」は、酸味と甘味のバランスが絶妙な箱根湿生花園のオリジナルの苺で、植物園のスタッフが育てています。

パルフェにはこの新鮮な苺が贅沢にも10個以上使われています!苺を濃厚ソフトにからませながら食べるもよし、コーンフレークと合わせて食感を楽しむのもよし。お好みで特製箱根りりかのピネガーをかけることもできます。SNS映えもばっちりのこのパルフェで、「箱根りりか」の美味しさをご堪能ください!



『ヒマラヤの青いケシ展』

園内特設会場にて「ヒマラヤの青いケシ展」を開催しています。期間中、延べ約1000株の青いケシを順次展示します。ヒマラヤ周辺にしか自生しない、神秘的な花をぜひこの機会にお楽しみください。(見頃は5月末までとなりそうです。)



File20

ハグロケバエ

双翅目ケバエ科

気温が上がりと虫たちの活動も盛んになってきました。園内を散策していると、群がって飛んでいる昆虫を見かけます。今回はその一種であるハグロケバエについてご紹介します。



ハグロケバエは、ハエとカの中のような奇妙な形態の体長10～15mm程の昆虫です。幼虫成虫ともにあまり好まれない見た目をしていますが、毒は無く、攻撃してくることも無いので危険性の少ない昆虫です。

集団飛行の理由は、繁殖のためにペアを作りやすくするため、婚姻飛行とも言われます。成虫が発生する時期は短く一時的なもので、静かに見守ってあげてください。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

Botanical Gallery



サクラソウ

北海道～九州の川岸や山麓の湿地に生える多年草。古典園芸植物のひとつで、江戸時代に多くの園芸品種が作出された。



ヒメジャガ

北海道(西南部)～九州の山地の岩場に生える多年草。ジャガに似ているが、やや小型で葉も細くて薄い。



レンゲツツジ

本州～九州の丘陵から亜高山下部の草原などに生える落葉低木。名前の由来は、つばみの様子を蓮華(ハス)に見立てたことから。



ヤマツツジ

北海道(南部)～九州の丘陵から山地の林内などに生える半常緑低木。朱色の花を咲かせ、初夏の山を鮮やかに彩る。



カキツバタ

北海道～九州の水湿地に生える多年草。花弁の中央に白い筋があり、他のアヤメの仲間と見分けることができる。



クロユリ

北海道～本州(中部以北)の高山帯の草地に生える多年草。花にはハエを集めるために独特な香りがある



ヒマラヤの青いケシ

園内特設会場に展示している青いケシは5月末ごろまでお楽しみいただけます。この機会をお見逃し無く、お早めにお越しください。



ヒメサユリ
「姫早百合」(ユリ科)
本州(山形県、福島県、新潟県)の山地の草地に生える多年草。淡紅色で芳香のある花を咲かせる。別名、オトメユリ。



ニッコウキスゲ
「日光黄菅」(ユリ科)
北海道～本州(中部地方以北)の山地や亜高山の草原、海岸などに生える多年草。朝開花し、夕方に閉じる一日花。

箱根湿生花園の花だより

2019年 6月 1日 発行

すがすがしい初夏の季節となりました。園内では、清楚な一重咲きの野ばら、サンショウバラとハマナスが見頃です。端正な花をいっせいに咲かせる姿は美しく、うっとりとしてしまいます。高山のお花畑区では、人気のコマクサやヒメサユリが気品ある花を咲かせています。園内で開花する植物の種類が多くなるこの時期は、見所もたくさん。ここでは、その中でも特におすすめの植物をご紹介します！



Pick Up サンショウバラ 「山椒薔薇」バラ科

サンショウバラは、本州(神奈川県、山梨県、静岡県)の山地に生える落葉小高木です。名前の由来は、葉や刺がミカン科のサンショウに似ていることから名づけられました。富士・箱根地方の特産種で、別名ハコネバラとも呼ばれ、箱根町の花にも指定されています。近年では自生地が減少しており、絶滅が心配されている植物のひとつです。箱根湿生花園では、園内各所で美しい淡紅色の花を咲かせています。開花期間は短く短命ですが、箱根を代表する名花として有名です。また、天気の良い日には、マルハナバチがさかんに花粉を集めている様子も観察できます。なお、観察する際には、刺が多いため注意してください。

森のカフェ HAKONE

おすすめメニュー

「アフオガード」

森のカフェ HAKONE では、ちょっぴり大人のドルチェ「アフオガード」をご用意しています。上にかけるエスプレッソは、1杯ずつ丁寧に抽出した、本格的な味わい。これを濃厚ソフトクリームと合わせると、甘すぎずほろ苦い絶妙な味が口いっぱいに広がります。食感のアクセントには、カカオニブをどうぞ。ポリフェノールが豊富なスーパーフードです。甘さと苦味のバランスがやみつきになる女性に人気のドルチェです。園内を散策し終わった後、「アフオガード」を食べて、リラックスした一時をお楽しみください。



File21 シロオビアワフキ 半翅目アワフキムシ科

この時期、ヤナギ類の新芽を観察すると小さな泡の塊が多数付いていることに気づきます。この泡の正体は、シロオビアワフキの幼虫が外敵から身を守るために作った泡巣です。シロオビアワフキは、体長 10mm ほどのアワフキムシの一種で、樹液を吸って暮らしています。幼虫は、樹液を吸ったあとに排出した水と体内から分泌した液体を混ぜ合わせて石鹸液をつくり、腹部の気門(肺に相当する呼吸器官)を器用に使って、泡巣をつくります。外敵は窒息してしまう危険があるため、泡巣の中にはなかなか入ることができません。見た目以上に防御効果の高い安全な巣なのです。ちなみに箱根では、この泡巣を「カラスのよだれ」と呼んでいたそうです。きっと昔の人も、木に突然現れるこの泡を不思議に思っていたのでしょうね。



Botanical Gallery



ハマナス
北海道～本州(太平洋側は茨城県以北、日本海側は島根県以北)の海岸の砂地に生える落葉低木。新皇后・雅子さまのお印。



クサタチバナ
本州(関東地方以西)～四国の山地に生える多年草。名前の由来は、花がミカン科のタチバナに似ていることから。



オカタツナミソウ
本州～四国の丘陵などに生える多年草。名前の由来は、丘に生え、花を波頭にたとえたことから。



イブキトラノオ
北海道～九州の日当たりのよい山地に生える多年草。名前の由来は、伊吹山に多く生え、花が虎の尾に似ていることから。



エゾキスゲ
北海道、南千島の海岸の草地や砂丘に生える多年草。夕方に開き、翌日の午後まで咲く。



サイハイラン
北海道～九州の山地の木陰に生える多年草。名前の由来は、花序を采配(武将が指揮に用いた道具)に見立てたことから。



コマクサ 「駒草」(ケシ科)

北海道、本州(中部地方以北)の高山の砂礫地に生える多年草。名前の由来は、花の形が馬(駒)に似ていることから。高山植物の女王と呼ばれる。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。



サワラン

「沢蘭」(ラン科)

北海道～本州(中部地方以北)の高山の湿原に生える多年草。花は横を向いて咲き、完全には開かない。別名、アサヒラン。

箱根湿生花園の花だより

2019年 6月15日 発行

梅雨を迎え、湿原ではノハナショウブやサワランが気品のある花を咲かせています。色鮮やかな花が梅雨時期に雨に濡れて咲く姿は美しく、絵になります。

また、今年は「ホタル飛翔観覧のための夜間開園」を行っています。ホタルの飛翔に合わせて、夜に開園し、園内に飛ぶホタルを楽しんでもらう特別な企画です。夜の植物園で、幻想的に光るホタルを鑑賞してみたいはいかがでしょうか？



センジュガンピ

「千手岩菲」(ナデシコ科)

本州(中部地方以北)の深山の林内に生える多年草。名前の由来は、花が中国産のガンピに似ており、日光の千手ヶ浜で発見されたことから。



Pick Up ノハナショウブ 「野花菖蒲」 アヤメ科

ノハナショウブは、北海道～九州の湿地や湿り気のある草地に生えるアヤメ科の多年草です。アヤメの仲間は似ている花が多いですが、ノハナショウブの特徴は、花びらの中央に黄色い筋があり、葉の中央の脈が太く目立つことです。鑑賞用として親しまれている「ハナショウブ」は、ノハナショウブを改良してつくられた園芸品種です。

仙石原湿原が国の天然記念物に指定された昭和9年当時は、多くのノハナショウブが見られたそうですが、現在は、背丈の高いヨシなどに隠れ数が少なくなっていました。箱根湿生花園の植生復元区では、ヨシ狩りや火入れを行い、ノハナショウブが群生していたかつての景色を取り戻す取り組みが行われています。

森のカフェ HAKONE おすすめメニュー 「箱根りりかソーダ」

森のカフェ HAKONE では、箱根りりかの美味しさがぎゅっと詰まった「箱根りりかソーダ」をご用意しています。

箱根りりかとは箱根湿生花園で育てているオリジナルの苺で、このソーダには、箱根りりかでつくったピューレと箱根りりかをお酢につけた特製ピネガーが使われています。そのため、一口飲むと甘酸っぱい味が口いっぱいに広がります。

暑くなるこれからの季節にぴったりの爽やかな「箱根りりかソーダ」をぜひお試しください。

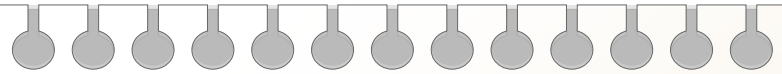


「ホタル飛翔観覧のための夜間開園」 6/10(月)～6/23(日) 20:00～21:00

上記期間中は、ホタル鑑賞のため夜間も開園しています。園内の展示室では、ゲンジホタルの生活史についての解説や幼虫や卵などの実物を展示しております。湿原で美しく光る、ゲンジボタルをぜひお楽しみください。



夜間のみ特別料金 500 円(最終入園 20:45)



File22

ゲンジボタル

甲虫目ホタル科

気温と湿度が高く、雨や風のない6月の夜、仙石原ではゲンジボタルが飛び交います。

ゲンジボタルは、本州～九州の緩やかな河川などに生息する日本固有のホタルです。幼虫はカワニナを食べて成長し、4月の暖かい雨の日に発光しながら上陸し、陸



上でさなぎになります。6月には成虫になり、夜、出会いを求めて発光し、次の代への繁殖に命を捧げます。このため、ゲンジボタルの発生は、水路の環境だけでなく成虫が休むための止まり木があることや、産卵できるコケが生えていることなど、周辺の環境にも大きく左右されます。

箱根湿生花園では、数年前からゲンジボタルの発生数を増やす取り組みを行っており、園内の展示室で、具体的な活動内容や、ゲンジボタルの生活サイクルを分かりやすくご紹介しています。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700 円 小人(小学生) 400 円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

Botanical Gallery



コマクサ

北海道、本州(中部地方以北)の高山の岩礫地に生える多年草。名前の由来は、花の形が馬(駒)に似ていることから。



イボタノキ

北海道～九州の山野の林縁に生える落葉低木。強健な性質であるため、接木の台木に用いられる。



ニッコウキスゲ

北海道～本州(中部地方以北)の山地や亜高山の草原、海岸などに生える多年草。園内ではヌマガヤ草原区で観察できる。



ウツギ

北海道～九州の日当たりのよい山野の川沿いや林縁に生える落葉低木。名前の由来は、幹が空洞で「空木」という意味から。



カキノハグサ

本州(東海地方以西)の山地の林内に生える多年草。名前の由来は、葉が柿の葉に似ていることから。



コシジシモツケソウ

本州(富山県、長野県北部～山形県)の低山に生える多年草。名前の由来は、越の国(北陸)に生え、シモツケに似ていることから。



ハンカイソウ 「樊噲草」(キク科)

本州(静岡県以西)～九州の低山から山地の湿り気のある林内などに生える多年草。名前の由来は、豪壮に直立する姿を中国漢代の武将、樊噲にたとえたことから。



ホザキシモツケ
「穂咲下野」(バラ科)

北海道～本州(日光、霧ヶ峰)の日当たりのよい山地の湿原に生える落葉低木。日光、戦場ヶ原の群生地が有名。



ギンリョウソウ
「銀竜草」(イチヤクソウ科)

日本全国の山地のやや湿り気のある林内に生える多年草。葉緑体をもたない腐生植物。別名、コウレイタケ。

箱根湿生花園の花だより

2019年 7月 1日 発行

雨の日が多く億劫な気持ちになりますが、雨の中でも鮮やかに咲く花々を観察していると、活力が出てきます。園内では、ヒメユリやササユリといったユリの仲間や、ホザキシモツケが雨にも負けず可愛らしい花を咲かせています。

また、7月13日からは、園内特設会場にて「世界の食虫植物展」を開催します。奇妙な見た目で不思議な食虫植物たちに是非会いに来てください。

森のカフェ HAKONE

おすすめメニュー

「森のリリカのハニートースト」

森のカフェ HAKONE では、高級ブリオッシュを使用した「森のリリカのハニートースト」をご用意しています。

ブリオッシュとは、フランス生まれの甘いパンで、森のカフェでは厳選した高級ブリオッシュをカリふわの食感にトーストし、この生地の上に、新鮮な箱根りりかや蜂蜜、濃厚ソフトクリームなどを豪華にトッピングしています。

SNS映えもばっちりの甘～いスイーツ、ぜひお試しください！



「世界の食虫植物展」 7/13(土)～

園内特設会場で「世界の食虫植物展」を開催します。ハエトリグサやウツボカズラなどを中心に約100種700点を展示し、ミニ教室・展示即売会も開催する予定です。お楽しみに！



Pick Up ヒメユリ 「姫百合」 ユリ科

ヒメユリは、本州(東北地方南部以南)～九州の山地にまれに生える多年草です。6月～7月、目の覚めるような朱赤色の花を上向きに咲かせます。名前の由来は、他のユリの仲間と比べると草丈が低く、小ぶりであることから名づけられました。ヒメユリの英名は、「star lily」といい、その名の通り、上から見ると、花の形が星のように見えることに由来します。

絶滅危惧種に指定されており、野生ではなかなか観察することができないヒメユリですが、園内ではススキ草原区で間近で観察することができます。



File23 ヒメギス 直翅目キリギリス科

この時期、園内の草地では、ヒメギスの合唱が最盛期を迎えています。

ヒメギスは、草丈が低くやや湿った草地に生息するキリギリスの仲間です。体長は20～30mmの小型の昆虫で、体色は全体的に黒味を帯びていますが、緑や褐色などの変異もあります。



名前の由来は、よく似たキリギリスと比べ、ひとまわり小さいことに由来します。ヒメギスのオスは、昼間に草の上でメスを探すために「シリシリ、シリシリ」と乾いた音で鳴きます。かなり大きな鳴き声なので、こんな小さな体から出しているとはとても想像できません。

園内では、ヒメギスの他にもナキイナゴやツコムシなど様々な鳴く虫が生息しています。立ち止まってじっくり聞き比べてみましょう。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

Botanical Gallery



タカネビランジ
本州(南アルプス)の高山帯の岩場に生える多年草。淡紅色の花を咲かせる。日本固有種。



ケイワタバコ
本州(近畿・中部地方)の日陰の岩場の壁に生える多年草。イワタバコに似ているが、萼・葉などに毛が生えているのが特徴。



ハコネコメツツジ
本州(中部・関東地方)の風衝地の草原や岩場に生える落葉低木。絶滅危惧種に指定されている。



カキラン
北海道～九州の日当たりのよい湿地に生える多年草。名前の由来は、柿の色に似た花を咲かせることから。



ノハナショウブ
北海道～九州の湿地や湿り気のある草地に生える多年草。花の中央に黄色い筋があるのが特徴。



ササユリ
本州(中部地方以西)～九州の草地に生える多年草。名前の由来は、葉が笹に似ていることから。



園内の様子

霧に包まれた園内は幻想的な雰囲気になります。霧の中では、ノハナショウブやヒメユリなど鮮やかな花色がよく映えます。



クサレダマ
「草連玉」(サクラソウ科)
北海道～九州の山地の湿原に生える
多年草。名前の由来は、花がマメ科
のレダマに似ていることから。

箱根湿生花園の花だより

2019年 7月15日 発行

例年になく長雨がが続いていますが、園内に隣接する仙石原湿原植生復元区では、カセンソウやミズチドリなどの花が、まるで梅雨空を明るくしようとしているかのように咲いています。

また、現在、園内特設会場にて「世界の食虫植物展」を開催しています。奇妙な見た目で不思議な食虫植物たちが皆様をお待ちしています！

森のカフェ HAKONE

おすすめメニュー

「箱根リリかジャムトースト」

森のカフェ HAKONE では、「箱根リリかジャムトースト」をご用意しています。このメニューは甘酸っぱい箱根リりかジャムをトーストに添えた、朝食や小腹がすいたときにぴったりのメニューです。

箱根リりかジャムは手間ひまかけてつくられた手作り。まず、オーブンで苺をひとつひとつ焼き、苺の水分を飛ばします。その後、砂糖に漬けて一晩寝かし、絶妙な火加減で煮込むと箱根リりかジャムが完成します。バターをたっぷりのせた厚切りトーストの上のせて食べてもよし。そのままでも美味しくお召し上がりいただけますよ。



「世界の食虫植物展」 7/13（土）～9/1（日）

園内特設会場で「世界の食虫植物展」を開催しています。ハエトリグサやウツボカズラなどを中心に約100種700点を展示しています。当園の職員が食虫植物を分かりやすく解説します。お楽しみに！

食虫植物ミニ教室 日時：8/3～9/1の土日祝日（イベント開催のため、8/24、/25はお休み）13：30～（約30分間）



Pick Up キキョウ 「桔梗」 キキョウ科

キキョウは、北海道～九州の日当たりのよい草原に生える多年草です。名前の由来は、漢名の桔梗を当初は「キツコウ」と読み、それが徐々に「キキョウ」に変化したといわれています。

キキョウは、雌しべより雄しべが先に成熟する花として知られています。咲き始め、雌しべがまだ未熟な段階で雄しべが成熟し、花柱に花粉をつけ、虫が花粉を運ぶのを待ちます。その後、雌しべが成熟すると、今度は別の花の花粉をつけた虫が雌しべに訪れ、受粉するのを待ちます。性転換をして、巧みに自家受粉を避けているのです。

箱根湿生花園ではススキ草原で観察することができます。秋の七草のひとつとして有名なキキョウをぜひ観察してみてください。



ミズチドリ 「水千鳥」(ラン科)

北海道～九州の日当たりのよい湿地に生える多年草。絶滅危惧種に指定されている野生ラン。花には芳香があり、別名、ジャコウチドリ。

File24 オカモノアラガイの仲間

マイマイ目オカモノアラガイ科

雨の多いこの時期、濡れた木道をよく見ると半透明の貝が張り付いています。この貝は、オカモノアラガイというカタツムリと同じ陸生巻貝の一種です。内臓が透けてしまうほど殻が薄く、貧弱です。この薄い貝殻では、乾燥から身を守れないため、池の周囲や湿原など常に湿った環境でしか生息することができません。



主な食物は植物で、普段は地面に落ちている落葉などを食べていますが、雨の日が多く、乾燥の心配がないこの時期には、木の幹や葉の上を歩き回り、植物を食べる姿を観察することができます。園内の植物では、ミズバショウの葉が食べやすいらしく多くの個体を見ることができます。

Botanical Gallery



オグラセンノウ

本州（岡山県以西）～九州の湿原に生える多年草。高層湿原で観察することができる。



ホタルブクロ

北海道（西南部）～九州の山野や丘陵に生える多年草。名前の由来は、昔、子どもが花にホタルを入れて遊んだことから。



ヌマトラノオ

本州～九州の湿地に生える多年草。よく似たオカトラノオと異なり、花序は立ち上がる。箱根にも自生している。



シモツケソウ

本州（関東地方以西）～九州の山地の草原に生える多年草。日本固有種。高山のお花畑で鮮やかなピンクの花を咲かせる。



カライトソウ

本州（中部地方）の高山帯に生える多年草。名前の由来は、美しい花穂を唐から来た唐糸にたとえたことから。



ハンゲショウ

本州～沖縄の水辺や湿地に生える多年草。花が咲き始める頃、花の周りの葉が白くなる。別名、片白草。



カセンソウ 「歌仙草」(キク科)

北海道～九州の日当たりの良い草地に生える多年草。仙石原湿原植生復元区で群生している。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

ご利用案内

通常営業 9：00～17：00（最終入園 16：30）
大人（中学生以上）700円 小人（小学生）400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス（湖尻・桃源台行）“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス（湿生花園行）終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。



コオニユリ
「小鬼百合」(ユリ科)
北海道～九州の草原に生える多年草。
オニユリに似るが花が小型で、ムカ
ゴを付けない。名前の由来は、花の
模様が赤鬼を連想させ、オニユリよ
りも小型なことから。

箱根湿生花園の 花だより

2019年 8月1日 発行

サギソウやコオニユリが梅雨が明けるのを待ちわびていたかのように美しい花を咲かせ始めました。湿原を鮮やか
な色で染め、お客様の目を楽しませています。

また、7/13より、園内特設会場にて「世界の食虫植物展」を開催しています。8月24日(土)、8/25(日)に
開かれる展示即売イベントは、珍しい食虫植物を入手するチャンスです。こちらもお見逃しなく！

森のカフェ HAKONE

おすすめメニュー

森のカフェ 特製
「シークレット ビーナス フライトラップ」

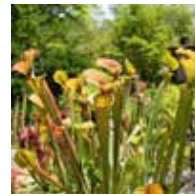
森のカフェ HAKONE では店長が、食虫植物か
らインスピレーションを受け、製作したメニュー
を期間限定にてご用意しています。濃厚食感のパ
ンナコッタが隠されている水風船を「プチッ」と
アリのピックで割る、大人も子供も楽しめるメニ
ューです。パンナコッタを包んでいるチョコはハ
エトリグサが虫を捕らえる捕虫葉をイメージ。甘
い香りに誘われたアリが水風船に近づくと、あっ
という間にパンナコッタに捕えられてしまいます！パンナコッタはパリッとしたチョコや箱根りり
かピューレと合わせてお召し上がりください。1日限定5食です。



「世界の食虫植物展」 7/13(土)～9/1(日)

園内特設会場で「世界の食虫植物展」を開催しています。ハエトリグサや
ウツボカズラなどを中心に約100種700点を展示しています。当園の職員
が食虫植物を分かりやすく解説します。お楽しみに！

食虫植物ミニ教室 日時：8/3～9/1の土日祝日(イベント開催のため、
8/24、/25はお休み) 13:30～(約30分間)



Pick Up サギソウ 「鷺草」 ラン科

サギソウは、本州～九州の山野の日当たりのよい湿原に生える多年草
です。名前の由来は、花の形が、シラサギが翼を広げているように見え
ることから名づけられました。ふと見入ってしまう特徴的な美しい花を
咲かせるサギソウですが、近年では、開発等により、サギソウが好む生
育環境が減少し、環境省のレッドリストで準絶滅危惧種に指定されるよ
うになりました。

長い梅雨が明け、日々猛暑日が続いていますが、暑さの中でも爽やか
さを感じさせてくれるサギソウをぜひ、観察して見てください。



シラヒゲソウ 「白髭草」(ユキノシタ科)

本州～九州の山地の湿地に生える多
年草。名前の由来は、細かく裂けた
花弁を白い髭に見立てたことから。

Botanical Gallery



フシグロセンノウ
本州～九州の山地に生える多
年草。鮮やかな朱赤色の
花は、暗い林の中でよく目
立つ。



レンゲショウマ
本州(中部)の山地に生える多
年草。名前の由来は、花がハス
の花に、葉は升麻(サラシナシ
ョウマ)に似ていることから。



シシウド
本州～九州の明るい草地に
生える多年草。花には蜜が多
く、たくさんの虫が集まる。



キキョウ
北海道～九州の日当たりの良
い草原に生える多年草。古くは
朝顔(アサガオ)と呼ばれていた。
秋の七草に登場する「朝顔の花」
とは本種だと考えられている。



ヒツジグサ
北海道～九州の池や沼に生
える多年草。名前の由来は、
羊の刻(午後2時頃)に花を
咲かせることから。

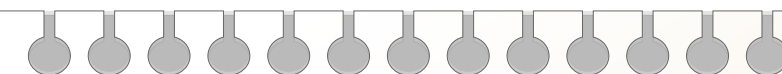


ナガボノシロワレモコウ
北海道～本州の湿地に生える
多年草。花弁は無く、白く花びら
のように見えるものは萼。名前
の由来は、ワレモコウよりも花
穂が長く、白色の花を咲かせる
ことから。



ヤマユリ 「山百合」(ユリ科)

本州(近畿地方以北)の林や林縁に生える多年草。神奈川県内にも多く自
生し、県の花に指定されている。



File25 オオウラギンスジヒョウモン チョウ目タテハチョウ科

この時期、園内では、花から花
へと飛び交うオレンジ色の蝶が目
立ちます。この蝶は、オオウラギ
ンスジヒョウモンというヒョウモ
ンチョウの一種です。オレンジ色
の翅に黒の斑模様があり、これが
ヒョウ柄に見えることから、この
ように名付けられました。



オオウラギンスジヒョウモンは、明るい林と草原が接した環境を好むため、都
市部では、なかなか見ることができなくなった蝶です。しかし、園内周辺では、
この蝶にとって理想的な環境が整っているため非常に多くの個体を観察すること
ができます。

飛翔するスピードは速く、じっくりと観察する事は難しいですが、花の蜜を吸
っているときは、警戒心も薄まり、比較的近い距離で観察することができます。
オカトラノオやチダケザシなどの花の周辺で観察してみましょう。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)
“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生
花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>



レンゲショウマ
「蓮華升麻」(キンポウゲ科)
本州(福島県～奈良県)の山地の落葉樹林内に生える多年草。ハスに似た花を下向きに咲かせる。日本特産種。

箱根湿生花園の花だより

2019年 8月15日 発行

お盆休みに入り、園内は子どもたちの元気な声が聞こえ賑やかです。仙石原湿原区では、コオニユリやサワギキョウが夏に咲く花のなかでも一際目を引きまします。

7/13より、園内特設会場にて「世界の食虫植物展」を開催しています。8月24日(土)、8/25(日)に展示即売会が開催されます。珍しい食虫植物を入手できるこの機会をお見逃しなく！



Pick Up コオニユリ 「小鬼百合」 ユリ科

コオニユリは、北海道～九州の山地の草原に生える多年草です。名前の由来は、花の模様が赤鬼を連想させ、オニユリよりも小型であることから付けられました。名前の通り、人里近くに生えるオニユリに似ていますが、コオニユリはむかご(わき芽が養分を蓄え肥大したもの)が付きません。また、どちらも球根は食用になりますが、今日、私たちが食べているほとんどのゆり根は、コオニユリの球根を食用に品種改良したものだといわれています。

コオニユリは夏の仙石原湿原を彩る代表的な花です。夏の暑さに負けず、園内各所で美しい花を咲かせています。



サワギキョウ
「沢桔梗」(キキョウ科)
北海道～九州の山野の湿地に生える多年草。箱根湿生花園に隣接する仙石原湿原にも自生している。

森のカフェ HAKONE

おすすめメニュー

「富士山サイダー」

森のカフェ HAKONE では、鮮やかなブルーの色合いが涼し気な「富士山サイダー」をご用意しています。サイダーの上に濃厚ソフトクリームを富士山に見立てたつばりとのせた、夏にぴったりのドリンクです。

サイダーの美しい色の秘密はブルーキュラソー。溶けたソフトクリームと合わせるとほどよい甘さになり、「シュワッ」と爽やかな美味しさが広がります。

清涼感たっぷりで老若男女に人気の「富士山サイダー」をぜひお楽しみください。



「世界の食虫植物展」 7/13(土)～9/1(日)

園内特設会場で「世界の食虫植物展」を開催しています。ハエトリグサやウツボカズラなどを中心に約100種700点を展示しています。当園の職員が食虫植物を分かりやすく解説します。お楽しみに！

食虫植物ミニ教室 日時：8/3～9/1の土日祝日(イベント開催のため、8/24、/25はお休み) 13:30～(約30分間)



File26

キアゲハ(幼虫)

チョウ目アゲハチョウ科

盛夏をむかえ、台ヶ岳のススキ

草原では、シシウドの大きな花序が、目立つ季節になりました。

この時期、園内を歩いていると、花や葉が丸裸になってしまったシシウドの株を見かけます。そんなとき、周りを観察すると、毒々しい色をしたキアゲハの幼虫を見つけることができます。



キアゲハは、セリ科を好んで食草とするアゲハチョウの仲間、この幼虫の奇妙な体色は「自分は美味しく無い」とアピールするための警告の意味があるとされます。シシウドは、この時期になると成長が止まり新しい葉が展開されません。幼虫は、その限られた餌を奪い合い、いち早く成長したものだけが蛹になることができます。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

Botanical Gallery



キレンゲショウマ

本州(紀伊半島)～九州の深山の林内に生える多年草。名前の由来は、レンゲショウマに似ていて、黄色の花を咲かせることから。



ミズトンボ

北海道～九州の日当たりの良い湿地に生える多年草。名前の由来は、花の形がトンボに似ていることから。



ナツエビネ

北海道～九州の湿り気のある林内に生える多年草。エビネの仲間は春に咲く種が多いが、本種は夏に咲く。



カワラナデシコ

本州～九州の日当たりの良い河原や草原に生える多年草。花弁が細かく切れ込んでいる。「ナデシコ」とも呼ばれ、秋の七草の一種。



ツリガネニンジン

北海道～九州の山野に生える多年草。若芽を「トトキ」といい、山菜として食用になっている。



オミナエシ

北海道～沖縄の日当たりの良い山野の草地に生える多年草。古くから薬用に使われてきた。秋の七草の一種。



仙石原湿原植生復元区の様子

仙石原湿原植生復元区では、カワラナデシコやオミナエシなど、多くの花々が咲いています。晴れた日には、台ヶ岳を眺めることができます。



オミナエシ
「女郎花」(オミナエシ科)
日本全土の山野の日当たりの良い草
地に生える多年草。秋の七草のひと
つとして、古くから親しまれてきた。

箱根湿生花園の 花だより

2019年 9月1日 発行

まだまだ残暑が厳しい日が続きますが、箱根仙石原では、日中でも心地よい風が吹くようになり、秋の訪れを感じられるようになってきました。園内では人気の高い、キレンゲショウマやワレモコウなどが見頃を迎えています。

また、9/23(月)の秋分の日には、箱根湿生花園第一駐車場を会場に「仙石原すすきまつり 2019」が開催されます！



Pick Up キレンゲショウマ 「黄蓮華升麻」 ユキノシタ科

キレンゲショウマは、本州(紀伊半島)～九州の深山の林内に生える多年草です。名前の由来は、キンボウゲ科のレンゲショウマに似ていて、黄色い花を咲かせることから名づけられました。キレンゲショウマ「*Kirengeshoma palmata*」は、初めて、日本人によって学名が発表された植物のひとつです。「*palmata*」は掌状を意味しており、手を広げたような形をした葉に由来します。

限られた地域にしか自生がないため、野生ではなかなか見ることのできない花ですが、箱根湿生花園では、湿生林区で観察することができます。鮮やかに咲く黄色い花は林の中でとてもよく目立っていますので、ぜひ観察してみてください。



タムラソウ
「田村草」(キク科)
本州～九州の山地の草原に生える多年草。アザミの花によく似ているが、刺はない。

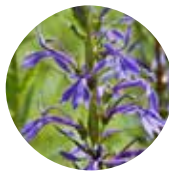


ワレモコウ「吾木香」(バラ科)
北海道～九州の山野の日当たりのよい草原に生える多年草。たくさんの小花が集まり、花穂を作る。一つ一つの小花には花弁がなく、花弁に見えるものは萼片。別名、ダンゴバナ。

Botanical Gallery



アサマフウロ
本州(中部地方)の湿った草地に生える多年草。名前の由来は、浅間高原の周辺に多く生えていることから。



サワギキョウ
北海道～九州の山野の湿地に生える多年草。美しい濃紫色の花を咲かせるが、全草にロベリンという有毒物質を含む。



スズムシバナ
本州(近畿地方以西)～九州の山地の木陰に生える多年草。絶滅危惧種に指定されている。



サワヒヨドリ
日本全土の山野の日当たりの良い湿地に生える多年草。フジバカマと同じ仲間。園内各所で見頃を迎えている。



キセワタ
北海道～九州の山野の草原に生える多年草。名前の由来は、花に白い毛が多く生えている様子を綿に見立てたことから。



タマアジサイ
本州(主に宮城県以南の太平洋側)の山地の谷間に生える落葉低木。名前の由来は、蕾が球形をしていることから。日本固有種。

森のカフェ HAKONE おすすめメニュー 「箱根りりか スムージー」

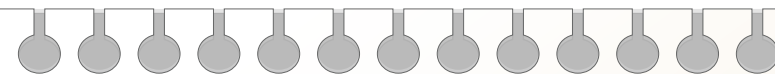
森のカフェ HAKONE では、甘酸っぱい箱根りりかの美味しさをギュッと濃縮した「箱根りりか スムージー」をご用意しています。朝採れた、もぎたての苺をふんだんに使用した、森のカフェオリジナルのフローズンドリンクです。

新鮮な箱根りりかの味をお楽しみいただくため、オーダーを受けてから、採れたての苺と特製りりかジュースをミキサーにかけて、作りたてをお客様にお届けしています。飲んでいくほどに、苺の甘酸っぱさやツブツブ感を味わうことができます。ぜひ、ご賞味ください。



「仙石原すすき祭り 2019」のお知らせ

箱根湿生花園第一駐車場を会場に、「仙石原すすき祭り 2019」が開催されます。旅館やホテルのワンコイングルメ、ライブステージ、花火 2000 発、芸者 BAR など、様々なイベントが開催されます。また、お祭りに合わせて箱根湿生花園では、園内をライトアップし、夜間開園します。ご家族でお楽しみいただけますので、ぜひお越しください。
日時：9/23(月・祝) 15:00～20:00 会場：箱根湿生花園第一駐車場



File27 ハグロトンボ トンボ目カワトンボ科

- この時期、園内の水辺を観察していると、ひらひらと舞うハグロトンボに出会えます。ハグロトンボは名前のとおり、翅が黒色をしたトンボで、胴体は、雌が黒褐色、雄は、金属光沢がある金緑色で、光があたると美しく光ります。
成熟した雄は、水辺に縄張りを持ち、縄張りに入った他の雄に対しては、盛んに威嚇して追い払います。この時期、園内では、コウホネの水上葉の上で縄張り争いが繰り広げられているのを見かけます。争いといっても飛び方がゆっくりなので、他のトンボに比べると激しさはなく、あまり戦っている様には見えません。



ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>



オミナエシ
「女郎花」(オミナエシ科)
北海道～沖縄の日当たりの良い山野の草地に生える多年草。秋の七草のひとつ。

箱根湿生花園の花だより

2019年 9月 15日 発行

仙石原高原のススキの穂も出揃うようになり、徐々に黄金色の風景を楽しめるようになってきました。園内では、ツルニンジンやアサマフウロなどが可愛らしい花を咲かせています。

9/21(土)から、園内特設会場にて、美しい秋の植物を展示する「秋の山野草展」を開催します。また、9/23(月)の秋分の日には、箱根湿生花園第一駐車場を会場に「仙石原すすきまつり 2019」が開催されます！



Pick Up ツルニンジン 「蔓人参」 キキョウ科

ツルニンジンとは、北海道～九州の山麓や平地の林内に生える多年草です。名前の由来は、根が朝鮮人参に似ていることから名づけられました。花は釣鐘形で、外側は白緑色をしています、内側には紫褐色の斑点模様があります。「ジイソブ」という別名は、この斑点をお爺さんのそばかすに例えたものです。根は日本ではあまり食用にしません、韓国では健康食品として古くから知られ、ナムルやキムチなどに利用されます。

秋らしい趣のある花を咲かせるツルニンジンですが、花からは強いにおいがします。



エゾリンドウ
「蝦夷竜胆」(リンドウ科)
北海道～本州(中部地方以北)の深山の湿地などに生える多年草。花数が多く、茎が太いため、切り花用に栽培される。



アサマフウロ 「浅間風露」(フウロソウ科)
本州(中部地方)の湿った草地に生える多年草。名前の由来は、浅間高原周辺に多いことから。フウロソウの仲間のなかでは花が大きく、色も濃い。

森のカフェ HAKONE

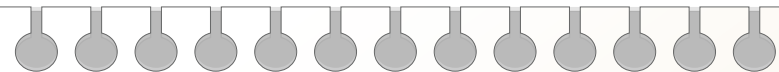
おすすめメニュー 「園内ピクニック用バスケット で食べるサンドイッチ」

森のカフェ HAKONE では、4種類のサンドイッチを提供しています。サンドイッチの食べ方として、園内での食事をおすすめしています。晴れた日には、購入したサンドイッチをピクニック用バスケットに入れて園内でピクニック気分を楽しむのはいかがでしょうか。カフェで「園内ピクニック用バスケット」の貸し出しをしています。気持ちの良い秋晴れの日には、東屋やベンチで食事するとサンドイッチが一層美味しく感じられます。また、ドリンクホルダーをご用意していますので、サンドイッチと合わせ、お飲み物もどうぞ。食事の際に出るゴミ等は、園内に捨てず、カフェにお持ち帰りください。



「仙石原すすき祭り 2019」のお知らせ

箱根湿生花園第一駐車場を会場に、「仙石原すすき祭り 2019」が開催されます。旅館やホテルのワンコイングルメ、ライブステージ、花火 2000 発、芸者 BAR など、様々なイベントが開催されます。また、お祭りに合わせて箱根湿生花園では、園内をライトアップし、夜間開園します。ご家族でお楽しみいただけますので、ぜひお越しください。
日時：9/23(月・祝) 15:00～20:00 会場：箱根湿生花園第一駐車場



File 28 ヤナギシントメタマバエ

ハエ目タマバエ科

園内のカワヤナギやイヌコリヤナギを観察していると、枝の先端に奇妙な物が付いていることに気がきます。バラの花のようにも見えるこの部分は、ヤナギシントメタマバエという数ミリの昆虫が作り出した虫こぶです。



ヤナギシントメタマバエは、寄生バエの一種でヤナギの仲間に寄生します。一匹の幼虫が、芽の先端に潜り込み成長点を食べることで、枝の成長を阻害し、芽の形を変形させてしまいます。幼虫は、虫こぶを作り身を隠すことで、敵に見つからずに柔らかい葉を食べることができます。また、何重にも重なった葉は、寒さから幼虫を守る役割もあります。ヤナギに出来た虫こぶを見かけたら、数ミリの昆虫が作り出したとは思えない不思議な造形を、是非観察してみてください。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

Botanical Gallery



ワレモコウ
北海道～九州の山野の日当たりの良い草原に生える多年草。乾燥させた根茎は、止血薬として用いる。



ミヤコアザミ
本州(福島県以南)、四国(高知県)～九州の山地の草原に生える多年草。名前の由来は、小さくて可愛らしい花を、都人に例えたことから。



アケボノソウ
北海道～九州の産地の水辺に生える多年草。名前の由来は、花にある斑点を夜明けの空に見立てたことから。



キバナアキギリ
本州～九州の山地の木陰に生える多年草。黄色の唇形花を咲かせる。サルビアの仲間。



サワギキョウ
北海道～九州の山野の湿地に生える多年草。仙石原湿原に自生があり、絶滅危惧種に指定されている。



サワシロギク
北海道～九州の日当たりの良い湿地に生える多年草。花は始めは白色だが、しだいに紅紫色を帯びる。



アケボノソウ
「曙草」(リンドウ科)
北海道～九州の山地の水辺に生える多年草。名前の由来は、花にある斑点を夜明けの空に見立てたことから。

箱根湿生花園の花だより

2019年 10月 1日 発行

仙石原すすき草原では、黄金色のすすきの穂が風になびき、多くの観光客で賑わいを見せています。園内では、優雅な花を咲かせるキイジョウロホトトギスや清楚な花姿が人気のアケボノソウなどが見頃を迎えています。

9/21(土)からは園内特設会場にて、美しい秋の植物を展示する「秋の山野草展」を開催しています！



Pick Up キイジョウロウホトトギス 「紀伊上臈杜鵑草」 ユリ科

キイジョウロウホトトギスは、本州(紀伊半島南部)の山地の湿った崖などに生える多年草です。名前の由来は、紀伊半島特産であることと、美しく咲く姿を宮中の貴婦人(上臈)にたとえたことからこのように名づけられました。黄色い花を下向きにつけ、花の内側には、紫褐色の斑点があります。ジョウロウホトトギスに似ていますが、茎に毛がほとんどないのが特徴です。

箱根湿生花園では、現在開催中の「秋の山野草展」で観察することができます。また、「秋の山野草展」では、同じホトトギス属に属する、様々なホトトギスの園芸品種を展示しています。



マアザミ
「真薊」(キク科)
本州～九州の湿地に生える多年草。名前の由来は、食用になる本当のアザミということから。別名、キセルアザミ。

Botanical Gallery



ホトトギス
北海道(西南部)～九州の山地の湿ったところに生える多年草。名前の由来は、花にある斑点を鳥のホトトギスの胸にある斑紋に見立てたことから。



セキヤノアキチョウジ
本州(関東地方、中部地方)の山地の木陰に生える多年草。細長い花柄の先に総状に青紫色の花を多数つける。



ノコンギク
本州～九州の山野に生える多年草。地下茎を伸ばしてよくふえる。野菊の代表種。



サクラタデ
本州～沖縄の水辺や湿地に生える多年草。名前の由来は、花の色がサクラに似ていることから。



アサマフウロ
本州(中部地方)の湿った草地に生える多年草。フウロソウの仲間のなかでは、花が大きく色も濃い。



マツムシソウ
北海道～九州の山地の草原に生える越年草。英名は、特異な実の形から、ピンクッション(針さし)。



ススキ 「薄・芒」(イネ科)
日本全土の山野の草原などに生える多年草。秋の七草の一つでお月見には欠かせません。台ヶ岳の仙石原すすき草原では、黄金色の穂が風になびく様子を楽しめます。

森のカフェ HAKONE

おすすめメニュー 「シナモンキャラメル ハニートースト」

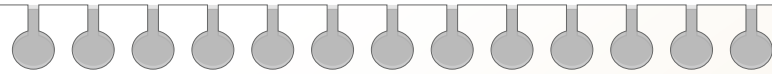
森のカフェ HAKONE では食欲の秋にぴったりなスイーツ「シナモンキャラメルハニートースト」をご用意しています。こんがり焼いたブリオッシュに濃厚ミルクソフトがしみる、冷やあつスイーツです。

厚切り的高级ブリオッシュには、森のカフェ名物のミルクソフトがそえられ、焦がしバターキャラメルソースと蜂蜜がふんだんにトッピングされています。かわいくてお腹いっぱいになれるので、シェアして食べることもオススメです！



「秋の山野草展」のお知らせ 9/21～11/10

秋の野山を彩るリンドウやダイヤモンドソウ、また美しく紅葉する樹木を約 80 種 800 株を自然に近い形で展示しています。9月 28 日現在、キイジョウロウホトトギスやホトトギスの園芸品種が鮮やかな花を咲かせています。



File29

オオハナアブ

ハエ目ハナアブ科

アザミやキクなど秋の花々には、花粉や蜜を主食としているハナアブという昆虫が多く集まります。今回は、その一種であるオオハナアブをご紹介します。オオハナアブは、湿った草地に多く見られるハナアブの仲間です。体色は黒色に太い黄色線が入る、まるでハチのような見た目をしています。しかし、オオハナアブ自体は大人しく毒もありません。このような体色をしている理由は、毒をもつハチの仲間に擬態することで、鳥などの外敵から狙われにくくするためだと考えられています。



花に止まっているのを見かけたら、近づいて複眼を観察してみましょう。よく見るとオオハナアブの複眼には迷路のような模様があります。これはオオハナアブだけの面白い特徴のひとつです。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩 8 分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場 I C より、車で 20 分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>



ウメバチソウ

「梅鉢草」(ユキノシタ科)

北海道～九州の日当たりの良い山野の湿った草地に生える多年草。名前の由来は、花の形が家紋の梅鉢紋に似ていることから。

箱根湿生花園の花だより

2019年 10月 15日 発行

箱根町内では、台風 19 号の爪痕が残り、現在も復旧作業が続いています。箱根湿生花園でも、一部浸水等の被害がありましたが、なんとか営業を再開することができました。大きな被害の出た台風でしたが、園内では、台風にも負けじとイワシャジンやウメバチソウなど秋の山野草が力強く咲き、お客様を迎えてくれます。

森のカフェ HAKONE

おすすめメニュー

「ブロッコリーポタージュ」

森のカフェ HAKONE では、この季節にぴったりの「ブロッコリーポタージュ」をご用意しています。国産ブロッコリーと牛乳、生クリームを使った、心も身体も温まる手作りポタージュです。

一口食べると、口の中でやさしい味わいが広がり、ブロッコリーのつづつ感がくせになります。そのまま食べても美味しくいただけますが、サンドイッチとの相性が良いため、セットで食べるのがおすすめです。



「秋の山野草展」のお知らせ ～11/10

秋の山野を彩るリンドウやイワシャジン、また美しく紅葉する樹木、約 80 種 800 株を自然に近い形で展示しています。10 月 14 日現在、ダイヤモンドソウの園芸品種が見頃となり、鮮やかな花を咲かせています。



Pick Up イワシャジン 「岩沙参」 キキョウ科

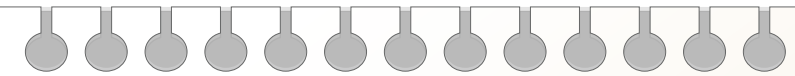
イワシャジンは、本州（中部地方～関東地方）の山地の湿り気のある岩場に生える多年草です。イワシャジンの仲間のなかには、乾燥させた根を「沙参（シャジン）」という生薬として利用するものがあり、本種は、「沙参」の仲間であることからこのように名づけられました。細く垂れ下がった茎に、鐘形状の花を咲かせる姿は可愛らしく、秋の山野草の中でも特に人気の高い植物です。

箱根湿生花園では、岩場植物区で観察することができます。花は小さいですが、紫色の花はよく目立ちます。



ヤマトリカブト

「山鳥兜」(キンポウゲ科)
本州（関東地方～中部地方）の山野の林内や林縁に生える多年草。箱根にも自生する。



File30

オオカマキリ

カマキリ目カマキリ科

植生復元区などの草地では、オオカマキリの成虫を見かけるようになりました。オオカマキリは、草原や林に生息する体長 70 ～ 90mm の肉食昆虫です。普段はゆっくりとした動きで行動していますが、獲物を見つけるとカマのような形の前脚を素早く繰り出し、獲物に引っ掛けるようにして捕らえます。写真の個体は、全身緑色をしています。オオカマキリの体色には、生まれつき変異があります。全身茶色の個体や、茶色と緑が混ざった個体など様々です。周辺の環境に合っていない体色の個体は、鳥などの外敵に見つかりやすいため、結果的に環境に適した体色の個体が生き残ることになります。



Botanical Gallery



ダイヤモンドソウ

北海道～九州の山地の湿った岩上に生える多年草。名前の由来は、花の形が大という字に似ていることから。



ヤマラッキョウ

本州（福島県以南）～沖縄の山地の草原に生える多年草。ネギの仲間、葉をこするとニラに似た臭いがする。



セキヤノアキチョウジ

本州（関東地方、中部地方）の山地の木陰に生える多年草。細長い花柄の先に青紫色の花を多数つける。



ノハラアザミ

本州（中部地方以北）の乾いた草地に生える多年草。根生葉は花期にも残る。



リンドウ

本州～九州の山野に生える多年草。乾燥させた根は薬用になり、健胃剤として利用される。



イヌウメドキ

本州～九州の山地の湿地または湿った落葉広葉樹林内に生える落葉低木。秋には、鮮やかな赤い実をつける。



「秋の山野草展」

園内特設会場にて開催中の「秋の山野草展」では、人気の秋の山野草や可愛い木の実をつける木々を展示しています。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>



ドウダンツツジ
「灯台躑躅」(ツツジ科)

本州(東海地方)～九州(鹿児島県)の山地に生える落葉低木。名前の由来は、枝分かれする様子が結び灯台(宮中で使われていた明かり)に似ていることから。

箱根湿生花園の花だより

2019年 11月1日 発行

台ヶ岳のすすき草原も銀色に輝くようになり、秋の深まりが感じられるようになってきました。園内では、木々が徐々に色づき始め、林の下ではリンドウやヤマトリカブトが優美な花を咲かせています。

11/1～11/30までの期間、ナイトパークを開催します。開園時間を1時間延長し、園内の紅葉を幻想的にライトアップします！

森のカフェ HAKONE

おすすめメニュー

「ホットアップルジンジャー」

森のカフェ HAKONE では、「ホットアップルジンジャー」をご用意しています。温めたりんごジュースに、カフェ特製のジンジャーシロップを加えたこれからの時期にオススメの飲み物です。一口飲むとりんごの甘さが広がり、後からジンジャーの辛さが引き立ちます。飲むと体がポカポカする寒い日にぴったりの人気メニューをぜひご賞味ください。

森のカフェ HAKONE は11月9日にオープン1周年を迎えます。いつでも新しい発見があるようなカフェを目指していきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。(店長より)



「秋の山野草展」 9/21～11/10

秋の野山を彩る草花や美しく紅葉する樹木、約80種800株を自然に近い形で展示しています。

「ナイトパーク」 11/1～11/30 16:30～18:00

園内のライトアップをお楽しみいただくため、上記期間は開園時間を1時間延長して営業します。16:30以降は夜間特別料金500円となります。



Pick Up リンドウ 「竜胆」 リンドウ科

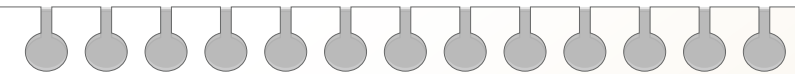
リンドウは、本州～九州の山野に生える多年草です。秋に美しい青紫色の花を咲かせます。名前の由来は、根茎を乾燥させたものを漢方で竜胆(りゅうたん)と呼び、それが転じてリンドウになったといわれています。竜胆は苦味が強いですが、薬効成分があり、健胃剤として利用されています。古くからリンドウの仲間が薬草になることは知られており、リンドウの属名ゲンチアナ(Gentiana)は、イリュリア王国の王ゲンティウス(紀元前2世紀、リンドウの仲間の薬効を発見したと伝えられる人物)の名前に由来します。

箱根湿生花園では園内各所で観察することができます。



オオイタヤメイゲツ 「大板屋名月」(カエデ科)

本州(福島県以南)、四国の山地に生える落葉高木。紅葉が美しいため庭木などに植栽されている。日本固有種。



File31

ウラナミシジミ

チョウ目シジミチョウ科

気温が下がり昆虫を見かける機会が少なくなりましたが、日中の晴れた日には、花の蜜を吸うウラナミシジミの姿を見ることが出来ます。ウラナミシジミは、翅の裏側の波模様が特徴的なシジミチョウの一種で、名前もこの模様に由来しています。



ウラナミシジミは、本来寒さが苦手な種類で、越冬場所は、九州～関東の沿岸部など温暖な地域に限られています。しかし、夏から秋にかけて分布を広げ、秋には全国の広い範囲で観察できるようになります。仙石原周辺で冬を越すことはありませんが、夏から秋にかけて分布を広げてきた個体を観察することができます。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上)700円 小人(小学生)400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

Botanical Gallery



リュウノウギク

本州(福島県、新潟県以南)～九州(宮崎県)の日当たりの良い山地に生える多年草。葉や茎に竜脳と呼ばれる香木に似た香りがある。



ヤマトリカブト

本州(関東地方、中部地方)の山地の林内や林縁などに生える多年草。産地により多くの近縁種がある。



コムラサキ

本州～沖縄の山麓の湿地や湿った原野に生える落葉低木。秋には、紫色の可愛らしい実をつける。



ヤマラッキョウ

本州(福島県以南)～沖縄の山地の草原に生える多年草。茎頂に紅紫色の花を多数つける。



メギ

本州(東北地方南部以南)～九州の山地や丘陵の林縁などに生える落葉低木。名前の由来は、葉や木部を煎じて洗眼薬にしていたことから。



ノハラアザミ

本州(中部地方以北)の乾いた草原に生える多年草。根生葉が開花期にも枯れないのが特徴。



「台ヶ岳すすき草原」(2019年10月31日現在)

台風19号の影響で、遊歩道が全面立ち入り禁止となっていました。現在、一部区間の立ち入り規制が解除され、間近でススキを楽しむことができます。



イロハモミジ

「以呂波紅葉」(カエデ科)

本州(福島県以南)～九州の山地の沢沿いや斜面に生える落葉高木。名前の由来は、葉の裂片を「いろはにほへと」と数えたことから。

箱根湿生花園の花だより

2019年 11月 15日 発行

今シーズンの営業も残すところあと2週間となりました。今年の紅葉は例年より少し遅れており、現在が見頃。高山のお花畑区では、晩秋の海岸を彩るイソギクやノジギクといった野菊の仲間も可愛らしい花を咲かせています。

当園は12月1日から冬季休園となり、花だよりもしばらくの間、お休みとなります。一年間ご愛読いただき、ありがとうございました。冬が過ぎ、春を迎えるとミズバショウやミスミソウなど可憐な花々が咲き出します。どうぞお楽しみに！

森のカフェ HAKONE

おすすめメニュー

「植物園のデザート」

森のカフェ HAKONE では、「植物園のデザート」をご用意しています。植木鉢型の器にソフトクリーム、チョコクランチ、カカオニブ、碾茶(抹茶にする前の茶葉)とミントをデコレーションした“鉢植え”にそっくりなデザートです。

植木鉢型の器に入っているソフトクリームをスコップ型のスプーンで食べるため、まるで植物の植替えをしているかのように楽しみながら味わうことができます。また、カカオニブのカリカリ感や碾茶のほろ苦さがいいアクセントにもなっています。

「植物園のデザート」は、セット限定メニューのため、森のガーデンセットをオーダーしないと食べることができません。園内で紅葉を楽しんだ後は、森のカフェで森のガーデンセットと共に隠れた人気メニューを楽しんでみてはいかがでしょうか？



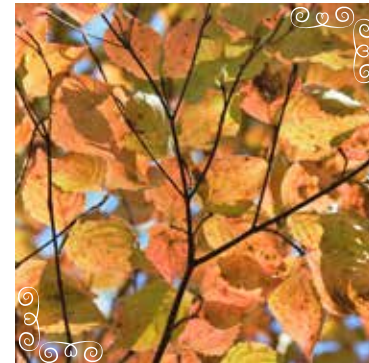
「ナイトパーク」 11/1～11/30 16:30～18:00

園内のライトアップをお楽しみいただくため、上記期間は開園時間を1時間延長して営業します。16:30以降は夜間特別料金500円となります。



Pick Up イソギク 「磯菊」 キク科

イソギクは、本州(千葉県～静岡県太平洋側)、伊豆諸島の海岸の崖や岩場などに生える多年草です。花に舌状花はなく、黄色い筒状花のみの小さな花をつけます。しかし、花は密集して咲くため、開花期には鮮やかな黄色がよく目立ちます。小さな花は、菊人形の着物の部位として古くから利用されてきました。イソギクという名はその名の通り、海辺に多く生えることに由来しています。自生地では険しい海岸の崖などで、潮風にも負けず、気品のある花を咲かせます。箱根湿生花園では、高山のお花畑区で観察することができます。



ヤマボウシ

「山法師」(ミズキ科)

本州～九州の山地の林内や草原に生える落葉高木。花や紅葉が美しく、自然に樹形が整うため、街路樹や庭木に利用される。

File32

カワセミ

ブッポウソウ目カワセミ科

秋も深まり、静寂に包まれた園内では、カワセミが狩りをしている姿を観察することができます。カワセミは、全国の水辺に生息する体長約17cmの小型の野鳥です。頭や背中、翼は光の反射によって青や緑色に輝いて見えるため、美しく、野鳥の愛好家にも人気が高い種類です。



水面が見下ろせる枝に止まったカワセミは、獲物を見つけると狙いを定めて勢いよく池に飛び込み、嘴で小魚を捕らえます。水中にダイブして獲物を捕らえる姿は、小さな野鳥ながらも迫力があります。捕らえた獲物は普通丸呑みにしますが、大きな獲物の場合は、岩や枝に叩きつけて弱らせてから飲み込みます。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

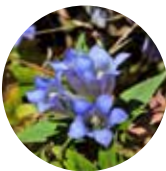
Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>

Botanical Gallery



リンドウ

本州～九州の山野に生える多年草。根茎を乾燥させたものを漢方で竜胆(りゅうたん)と呼ぶ。



オオモミジ

北海道(中部以南)、本州(太平洋側は青森県以南、日本海側は福井県以西)～九州の山地に生える落葉高木。日本固有種。



イヌツゲ

本州～九州の山地の岩場や草地に生える常緑小高木。よく似たツゲは葉が対生するが、本種の葉は互生する。



ノジギク

本州(瀬戸内海沿岸)～九州の海岸の岩場に生える多年草。西日本の海岸に広く分布する野菊。



コムラサキ

本州～沖縄の山麓の湿地や湿った原野に生える落葉低木。紫色の実が美しいため、庭木として植栽される。



ノイバラ

北海道～九州の河原や林縁に生える落葉低木。秋に実る赤い実は、生け花やリースの花材として使われる。



「園内の紅葉」(2019年11月12日現在)

園内は紅葉の真っ盛り。紅葉を楽しみたい方は、お早めにお越しいただくことをお勧めします。